

## 「地域密着型金融(平成21年度)」の取組み状況について

旧池田銀行及び旧泉州銀行とも、「地域との共生」を主眼に、これまでの地域密着型金融への取組みをさらに進めるべく、以下の3分野について積極的に取組んでまいりました。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

具体的な取組みとしては、

“地域起こし”の一環として、「ニュービジネス助成金」(132件の応募、12プラン/1千万円の助成金交付)、「コンソーシアム研究開発助成金」(59件の応募、16プラン/3千万円の助成金交付)を実施しました。

担保や保証に過度に依存せず、技術力、経営者能力、販売力、将来性等を評価した融資に取組みました。また、経営統合を機に、「統合記念ファンド」と称した無担保融資商品の取扱いを行いました。

「TOYROビジネスマッチングフェア」(旧池田銀行主催)及び「センギンビジネス商談会」(旧泉州銀行主催)において、両行お取引先が相互にご参加いただくなど、新たなビジネス機会のご提供に努めました。

産学官連携としましては、近畿経済産業局主管の地域力連携拠点事業にパートナー機関として参画。また、神戸大学との産学連携協定締結など、ネットワーク拡充を積極的に推進しました。

また、平成22年度の新銀行発足後の取組みとして、本年6月に、“何よりも、関西活性化のお役に立ちたい”という強い想いのもと、「関西活性化シンポジウム」を開催し、京都大学総長・大阪大学総長・神戸大学学長の3大学のトップに加え、近畿経済産業局長や関西経済界を代表する方々をお迎えし、ディスカッションを行っていただきました。当シンポジウムには、約1,300名のお客さまがご来場され、大変ご好評をいただきました。



当行は、これからも、「地域のため、地域のお客様のお役に立つ」ことを念頭に、地域力を高め、地域社会の活性化へ貢献できるよう、役職員一同、総力をあげて取組み、「地域からのご支持 1」のご評価をいただける銀行を目指してまいります。